

Call ManagerとActive Directory間のLDAP統合のためのカスタマイズされた組織単位

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ADサーバの設定](#)

[CUCMの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、プライマリOUがある場合に特別なユーザー用にカスタマイズされた新しい組織単位(OU)を作成する手順について説明します。

前提条件

要件

Active Directory(AD)サーバに関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Call Manager(CUCM)リリース10.5.2.13900-12に基づくものです。

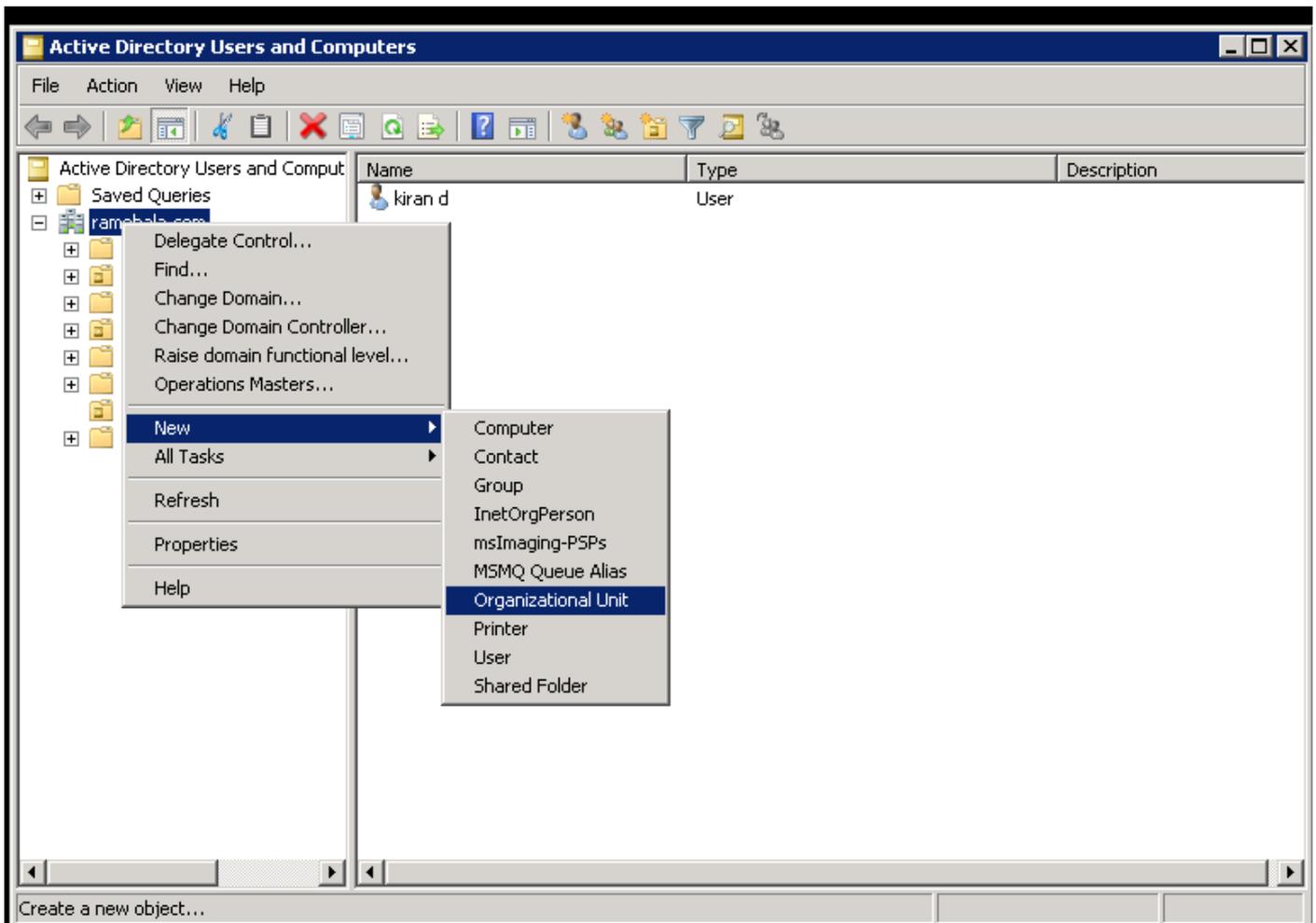
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

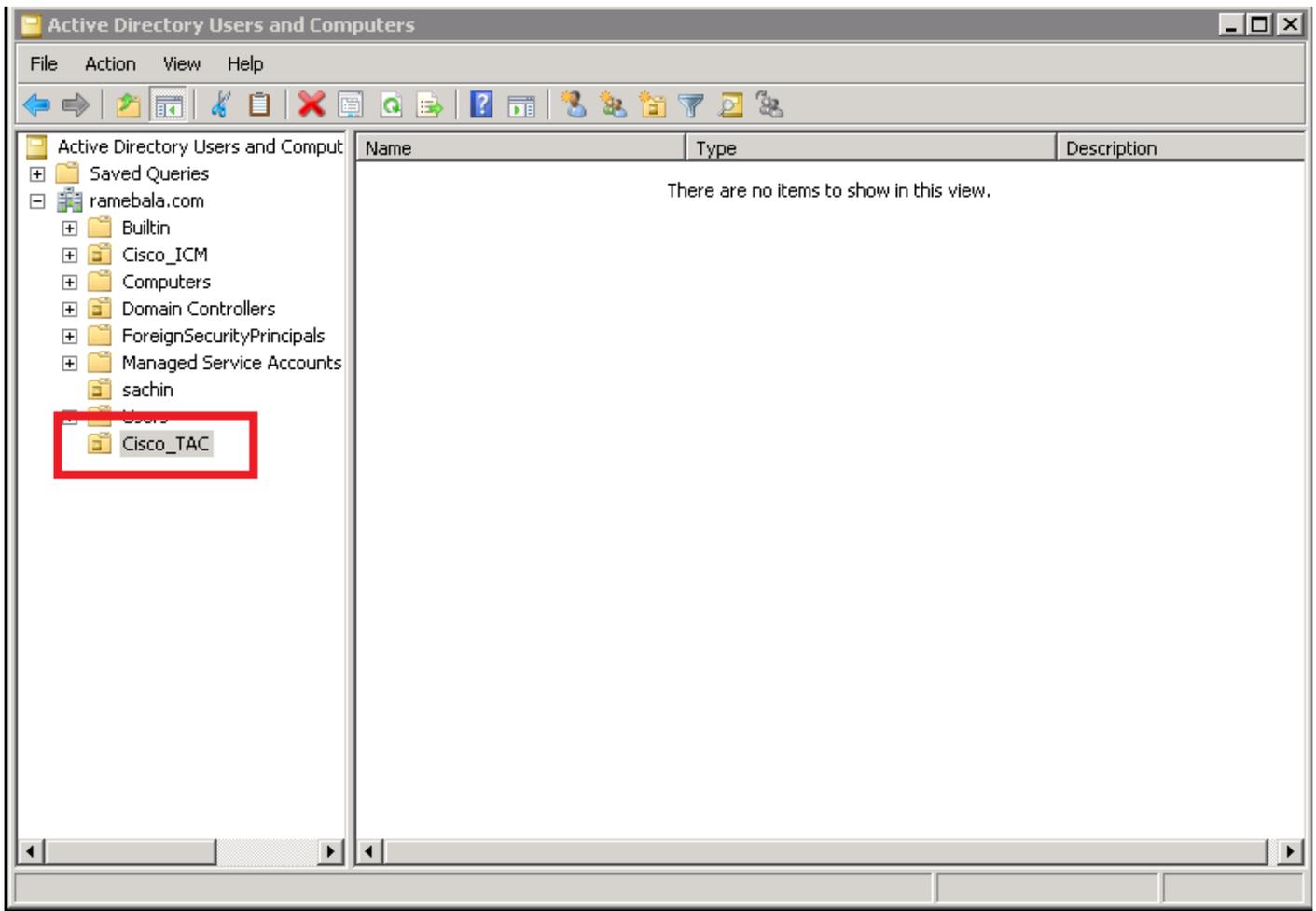
ADサーバの設定

ステップ1: 新しいOUを作成します。

プライマリOUを右クリックし、[New] > [Organizational Unit]を選択します。

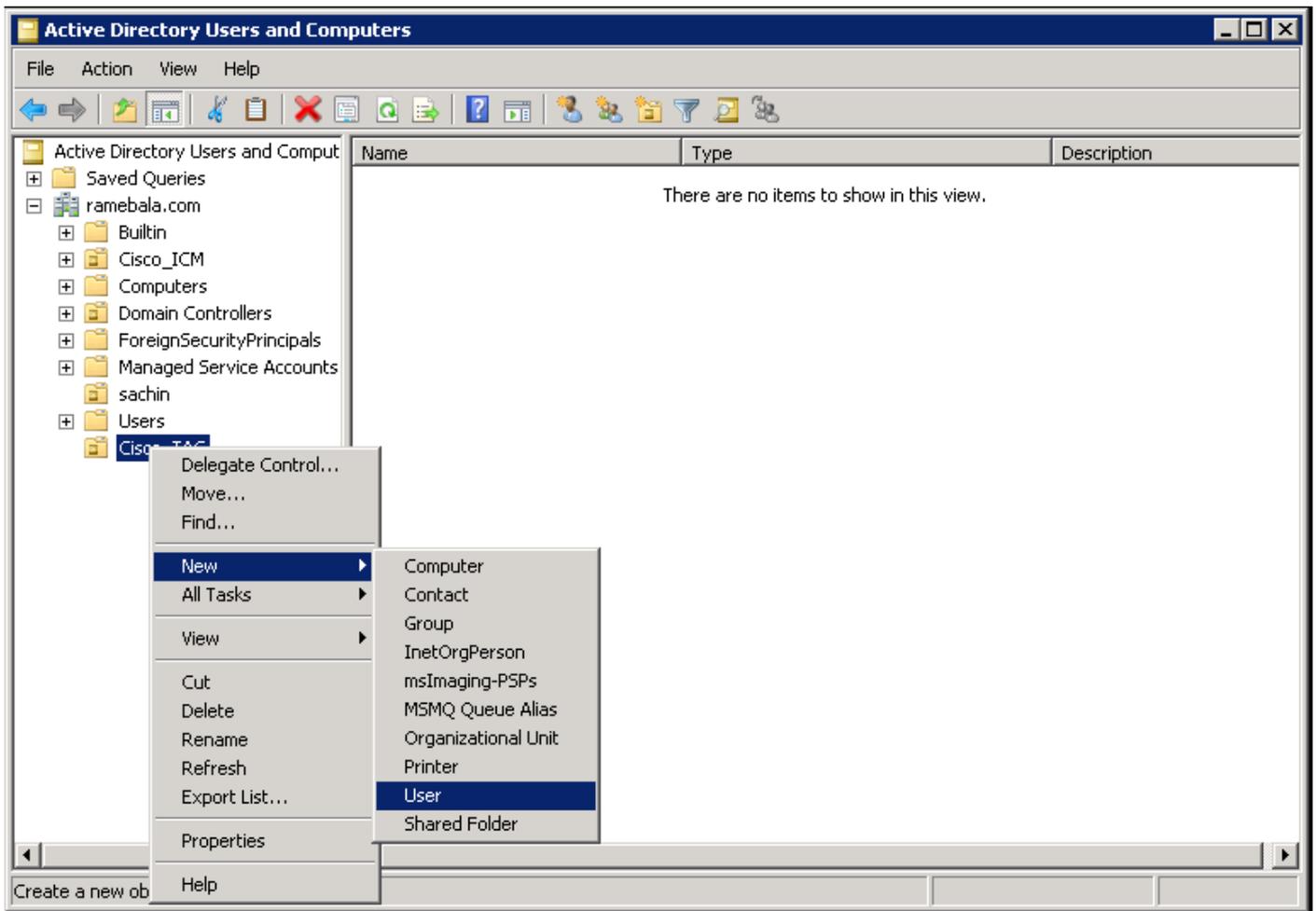


ステップ2：新しく作成したOUを確認します（この例では、新しく作成したOUは「Clisco_TAC」です）。



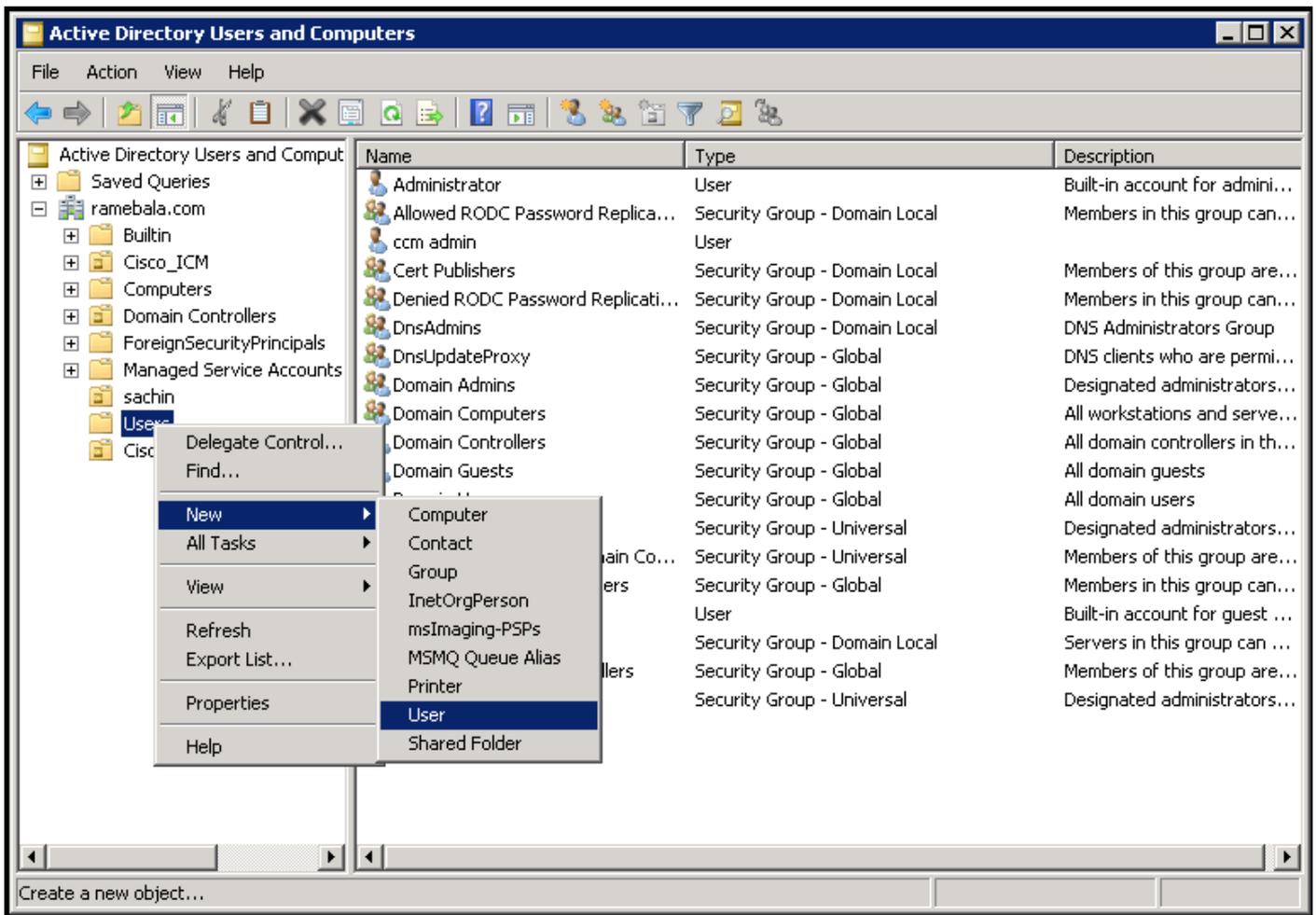
ステップ3 : 新しいOUにユーザを追加します。

新しいOUを右クリックし、[New] > [User]を選択します。



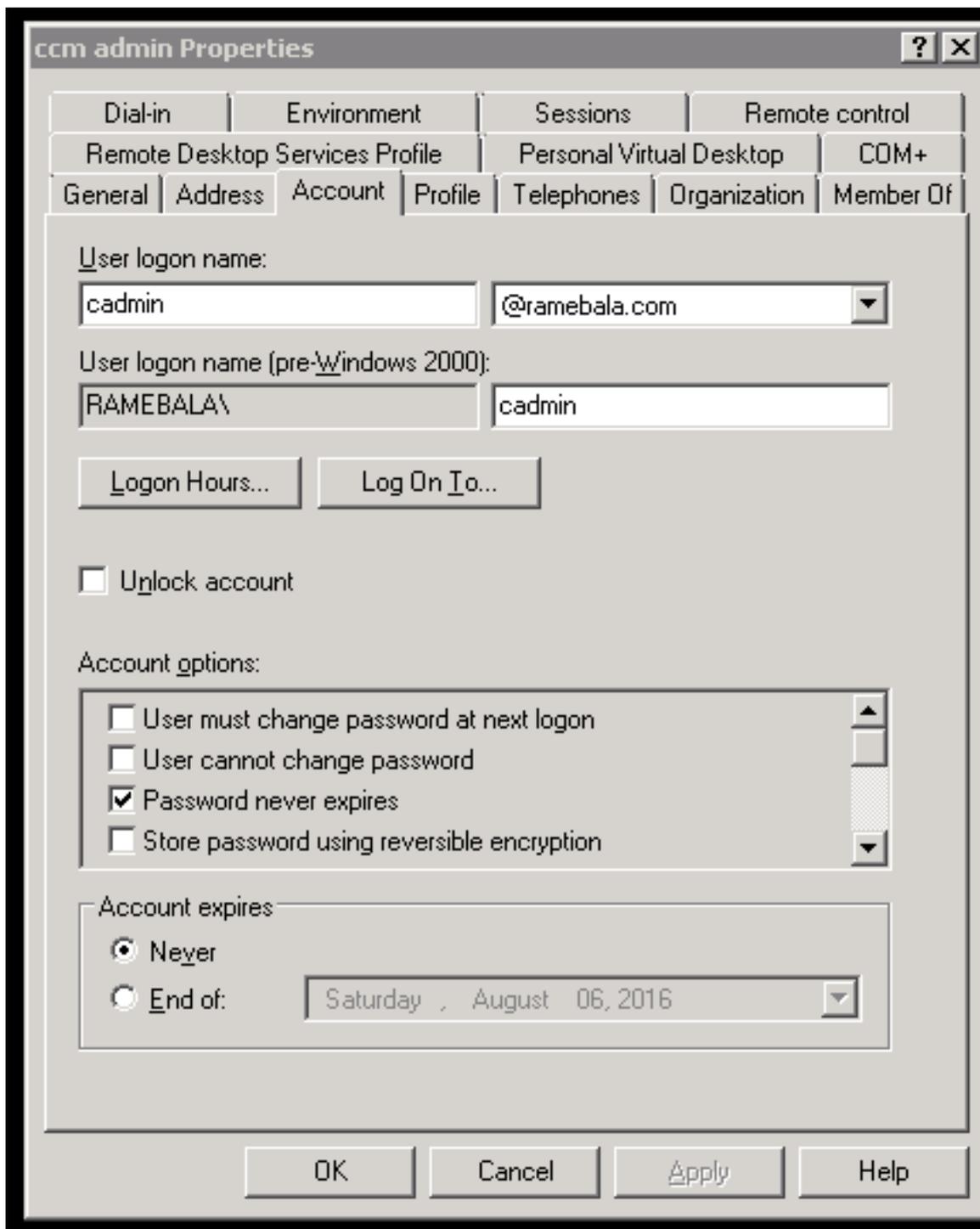
ステップ4:ADサーバとCUCMの間のギャップを埋めるユーザを作成します。

[Users]を右クリックし、[New] > [User]を選択します。



新しいユーザが作成されます。このユーザーはドメインadminのメンバーである必要があります

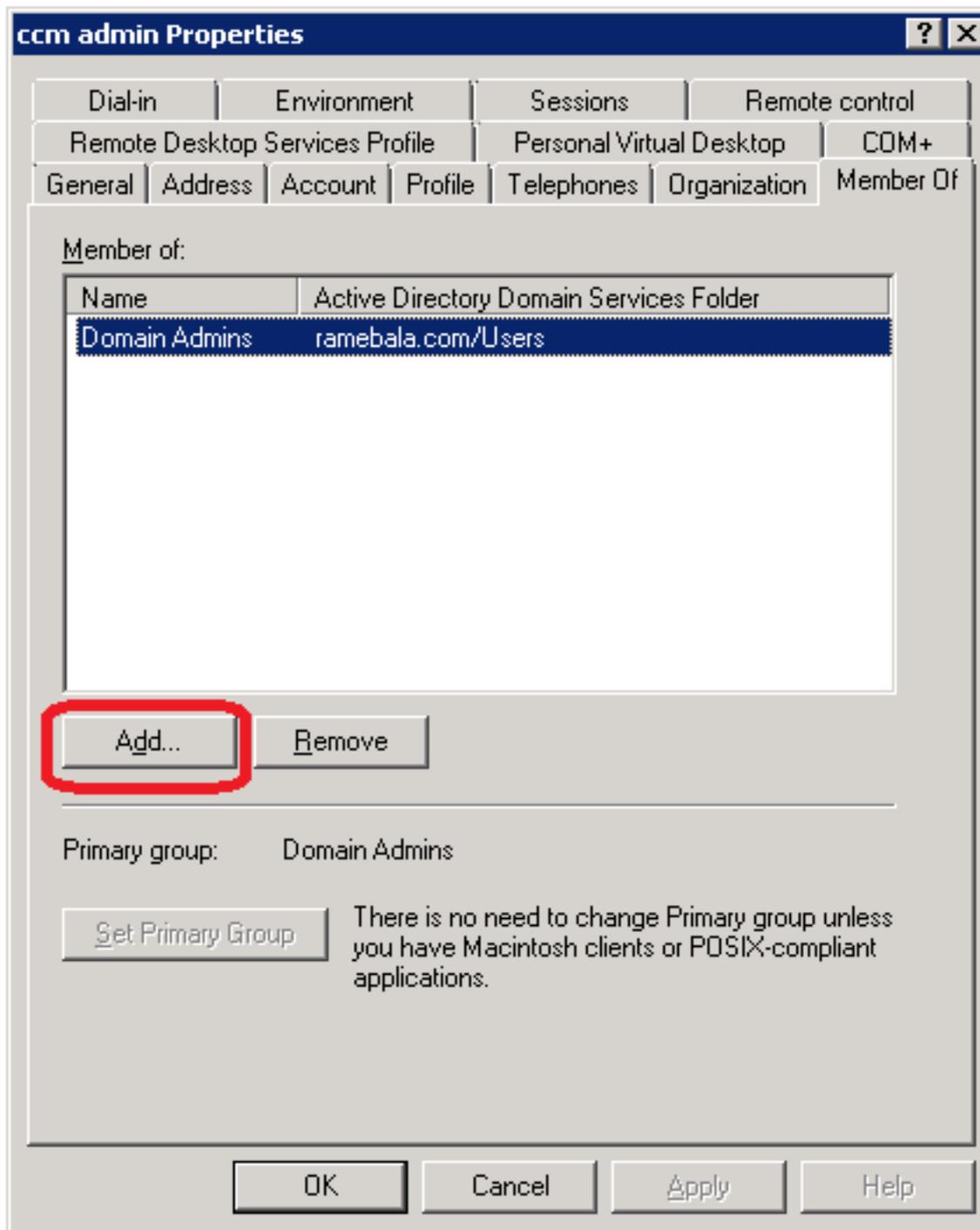
。



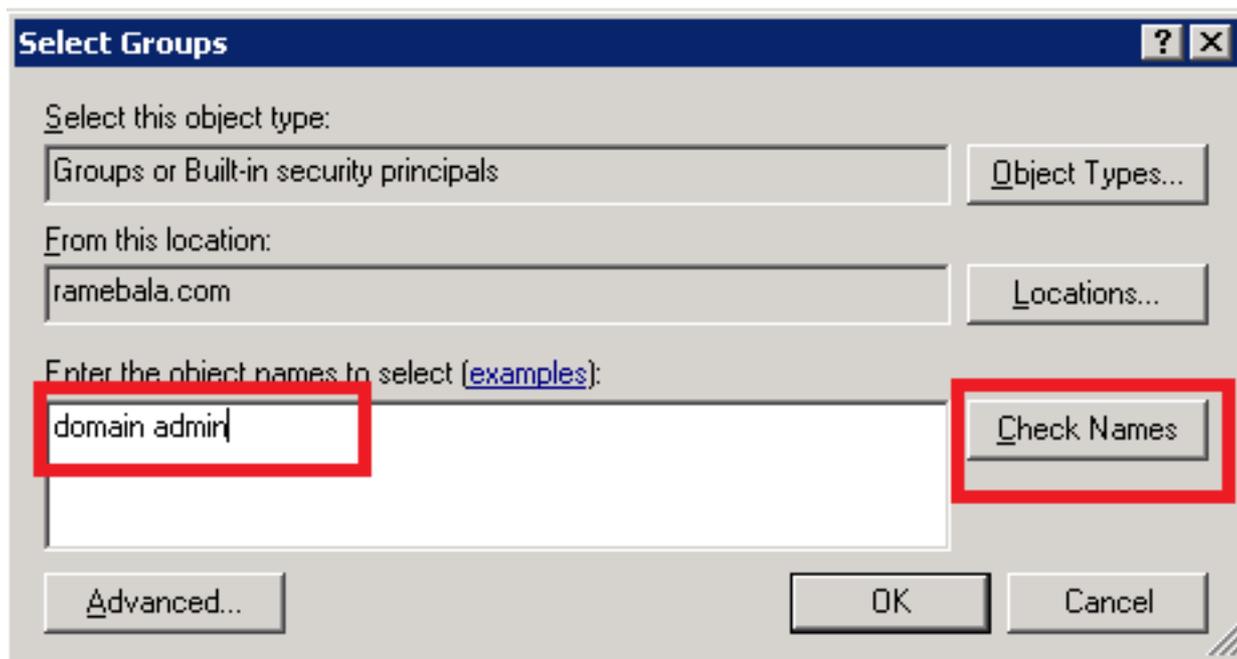
ステップ5:[User]を右クリックし、[Properties]を選択します。

[プロパティ]ダイアログで、[メンバー]タブを選択します。

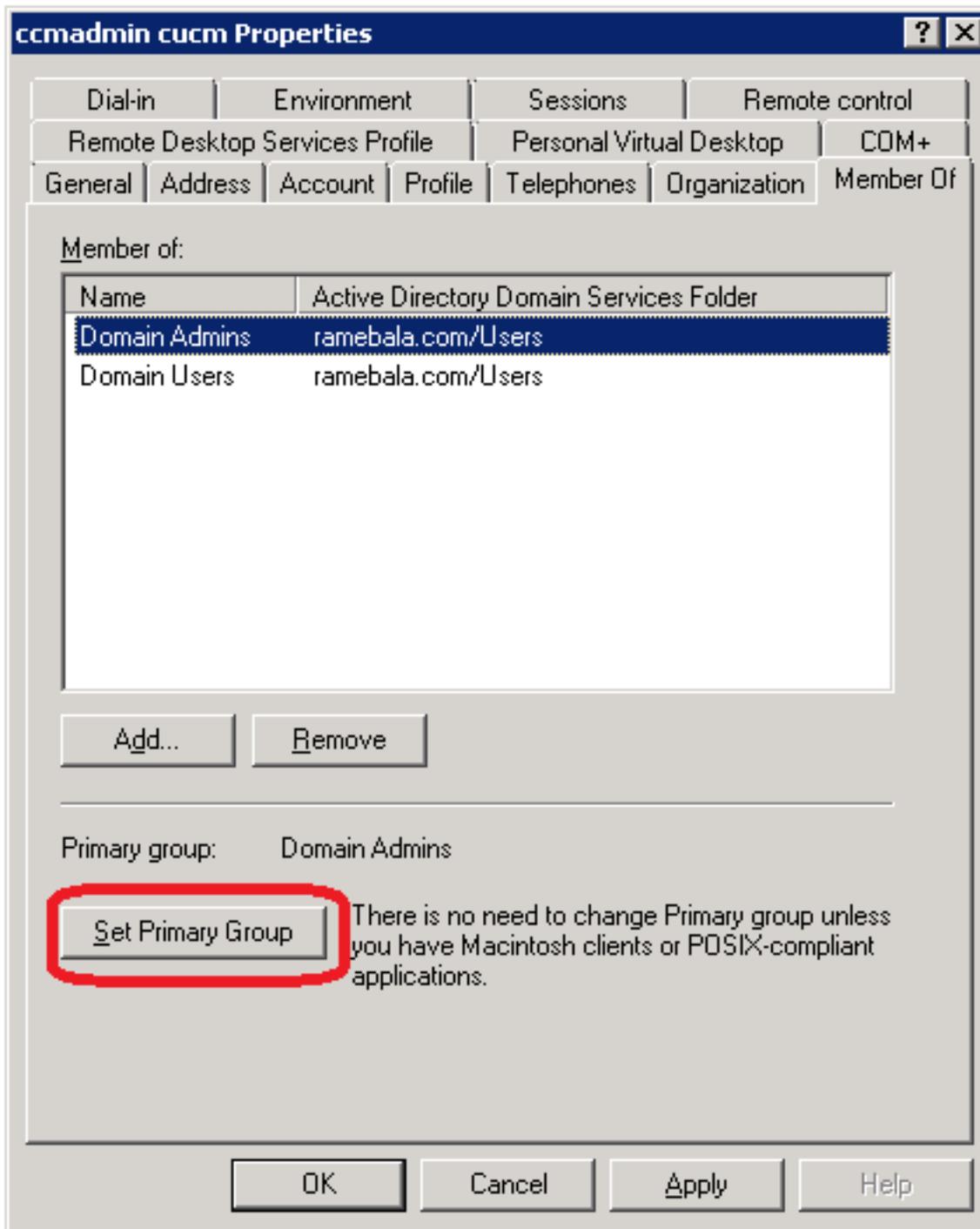
[メンバー]タブで[追加]をクリックします。



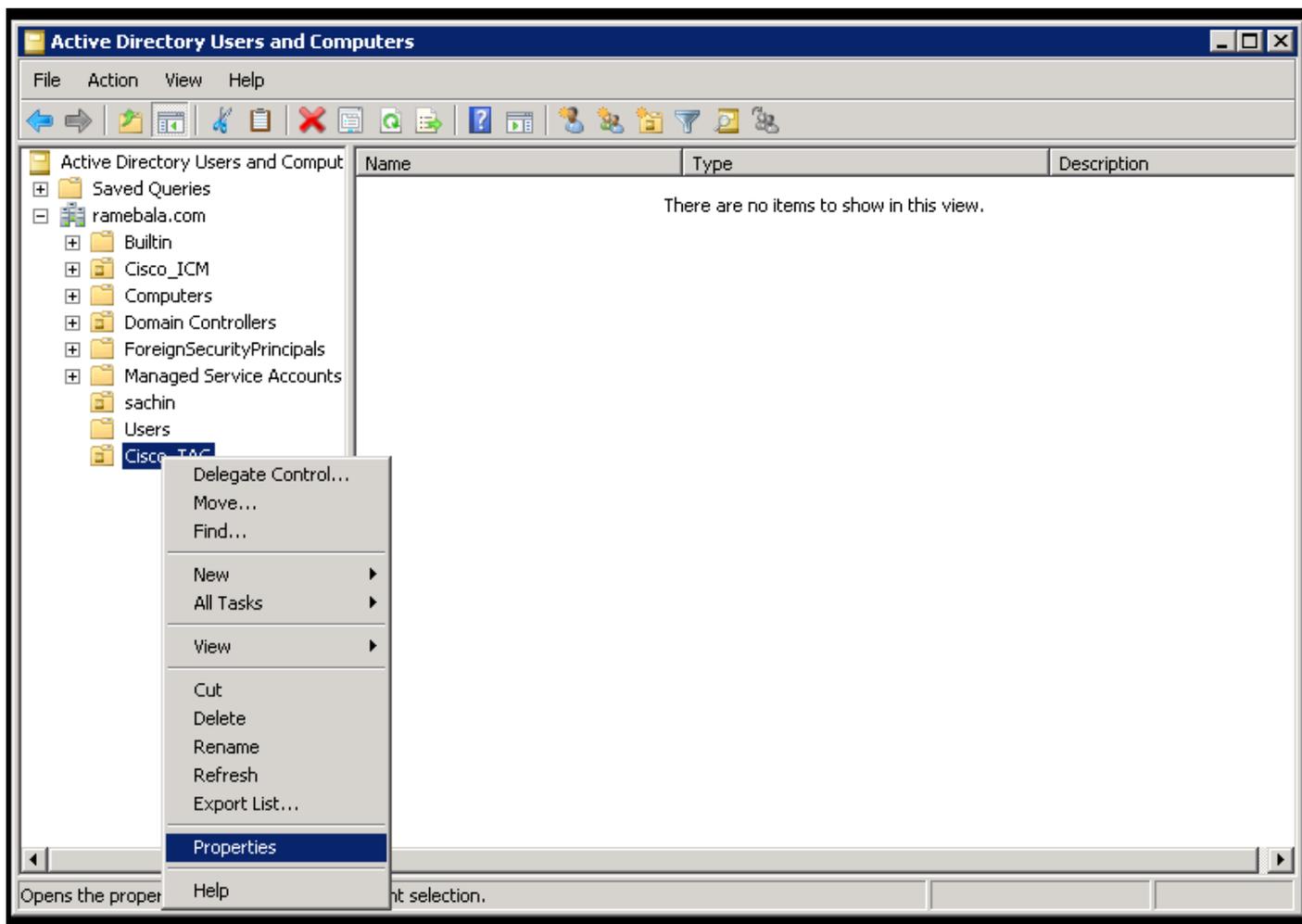
ステップ6: 「選択するオブジェクト名」に「domain admin」と入力し、「名前の確認」をクリックします。



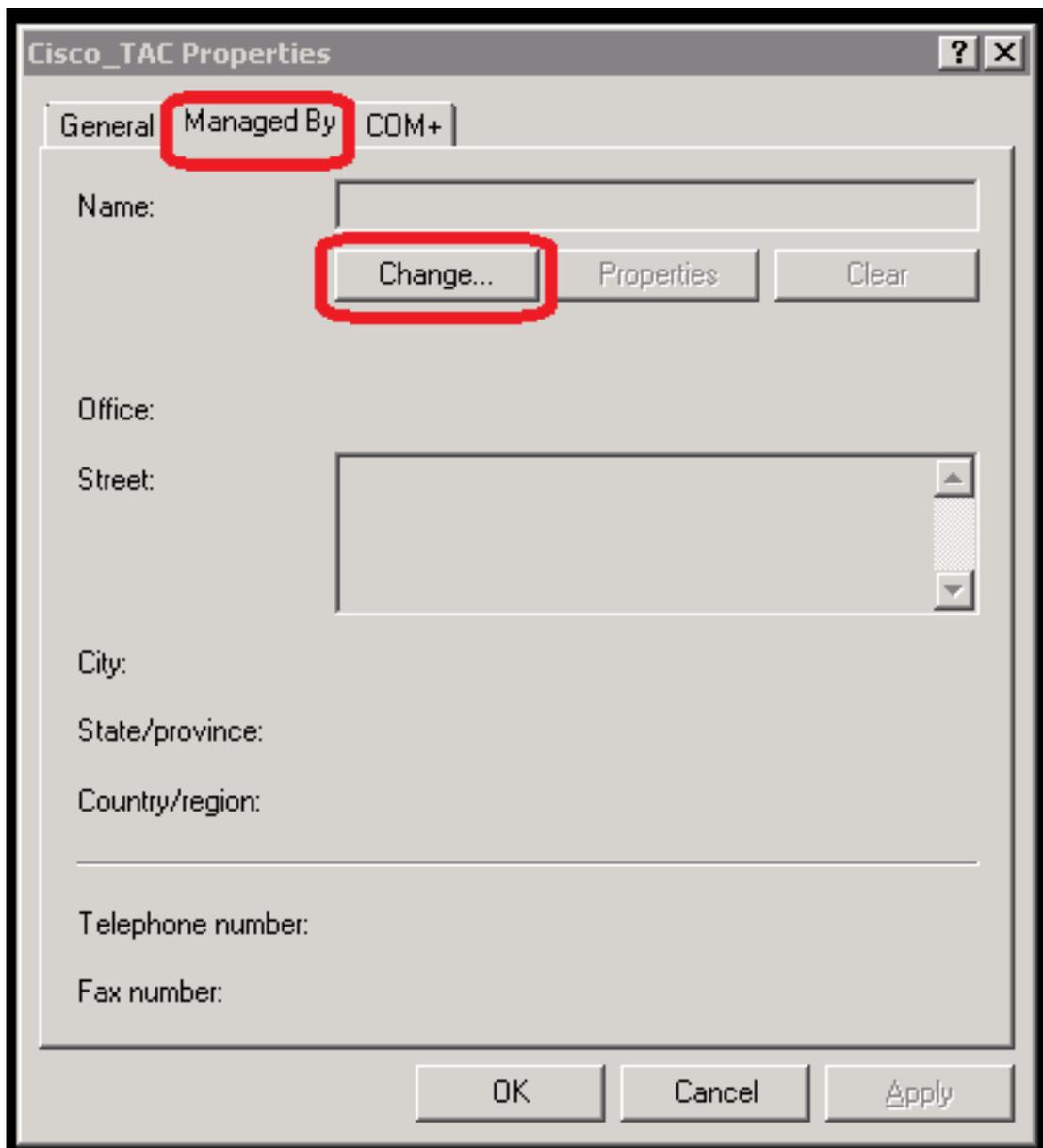
ステップ7:[Domain Admins]を選択し、[Set Primary Group]をクリックします。次に、ドメインユーザーを削除します。



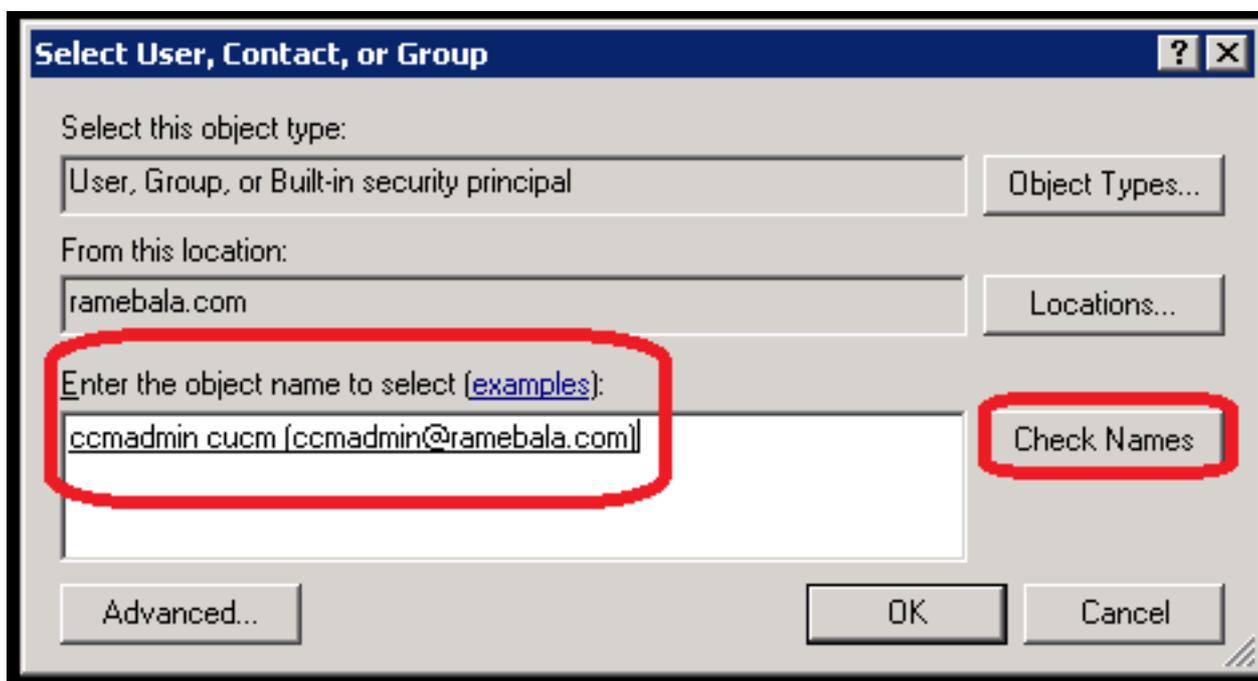
ステップ8 : 新しいOU (この例ではCisco_TAC) を右クリックし、[Properties]を選択します。



ステップ9:[Properties]ダイアログで、[Managed By]タブを選択し、[Change]をクリックします。

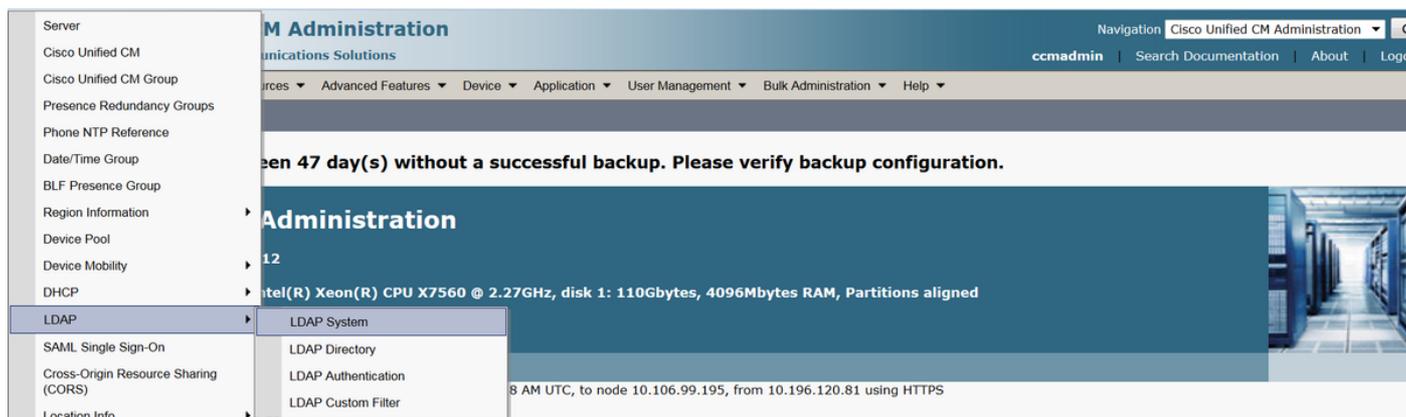


ステップ10： 選択するオブジェクト名（ステップ4でADサーバとCUCMをブリッジするために作成したユーザー名）を入力し、[名前の確認]をクリックします。

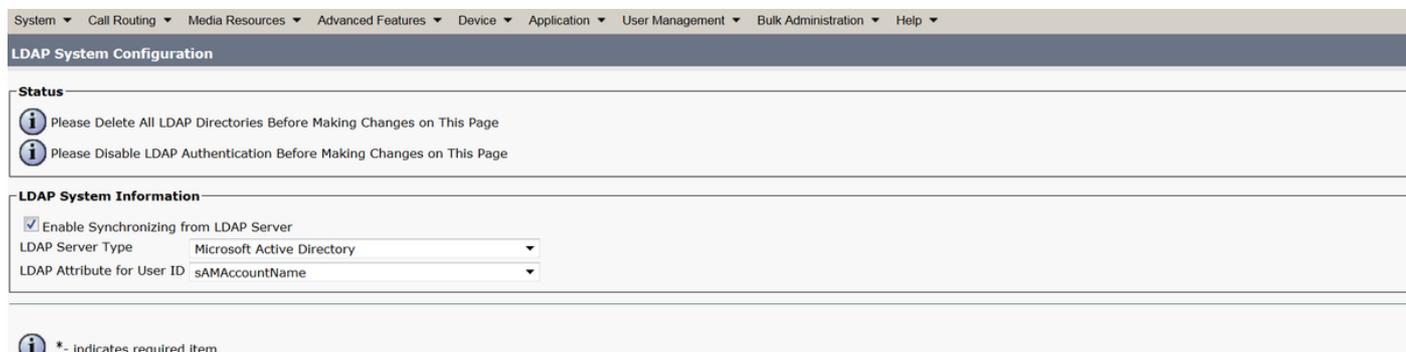


CUCMの設定

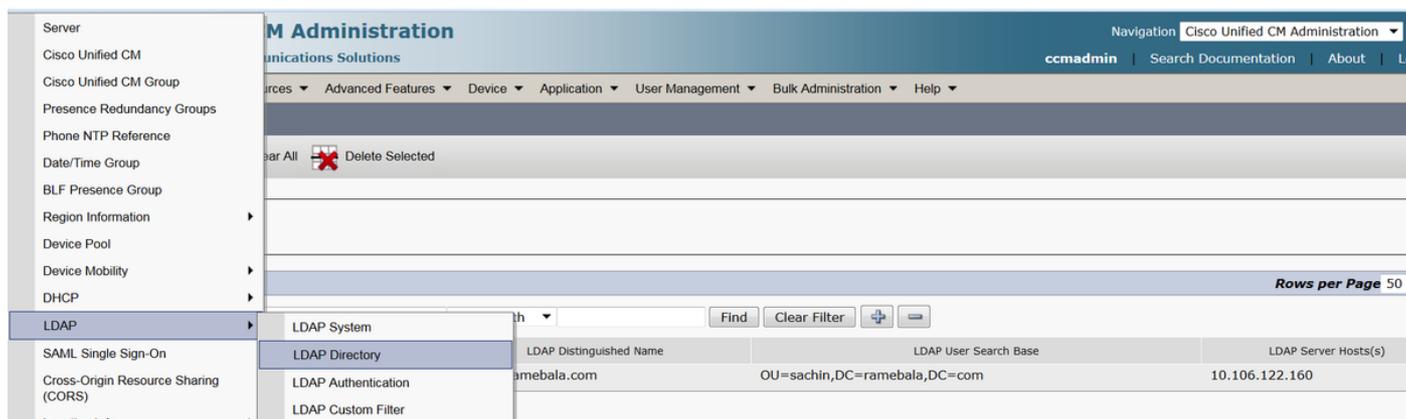
ステップ11:[System] > [LDAP] > [LDAP System]の順に選択します。



ステップ12:[Enable Synchronizing from LDAP Server]チェックボックスをオンにします。



ステップ13:[System] > [LDAP] > [LDAP Directory]に移動します。



ステップ14:[Add new]をクリックします。

System ▾ Call Routing ▾ Media Resources ▾ Advanced Features ▾ Device ▾ Application ▾ User Management ▾ Bulk Administration ▾ Help ▾

LDAP Directory

Save

-Status

Status: Ready

-LDAP Directory Information

LDAP Configuration Name*

LDAP Manager Distinguished Name*

LDAP Password*

Confirm Password*

LDAP User Search Base*

LDAP Custom Filter

注：

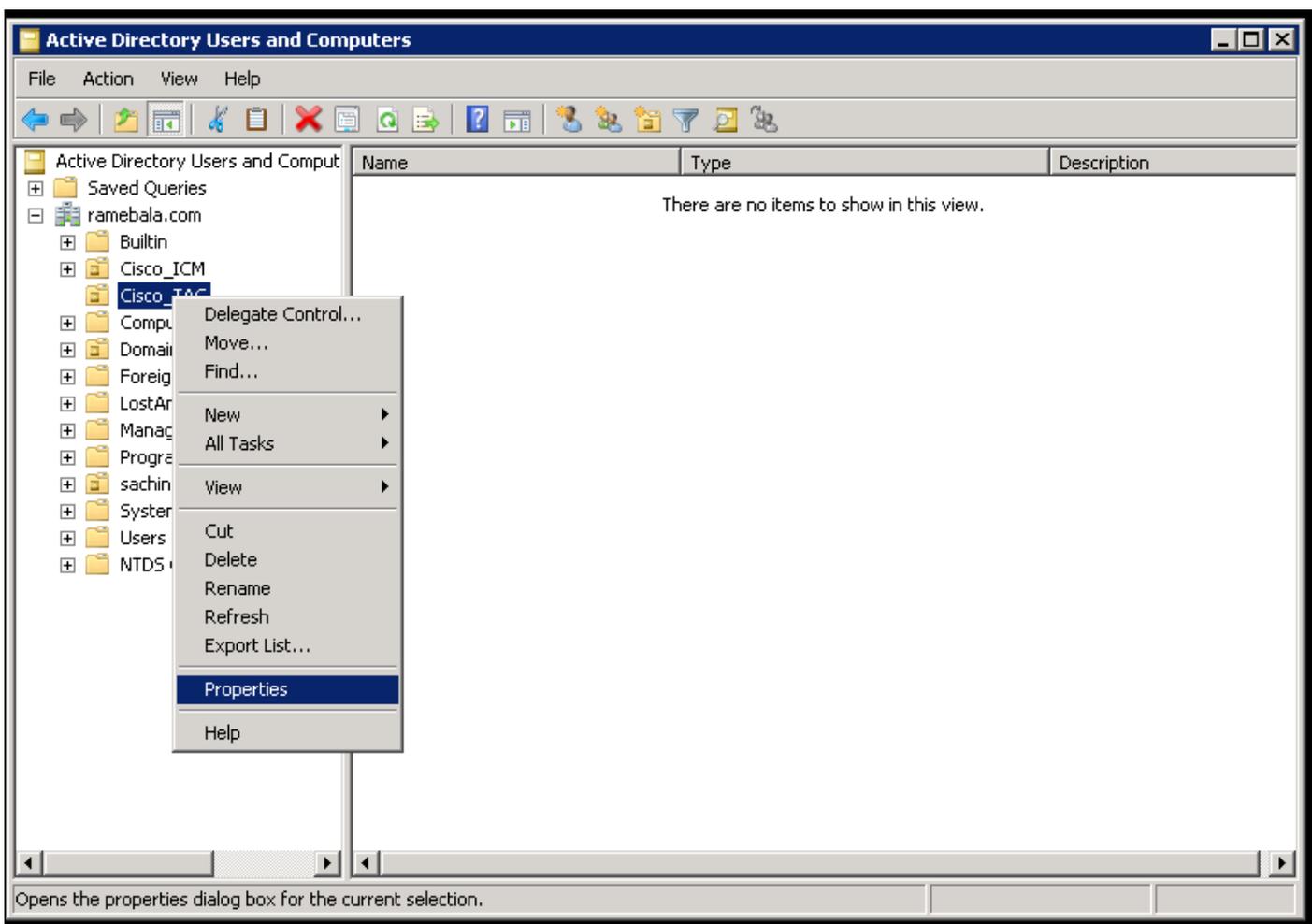
[LDAP Configuration Name]：この値は、LDAP設定の任意の名前です。

[LDAP Manager Distinguished name]：この値は、ADおよびCUCMブリッジユーザのユーザ名である必要があります。

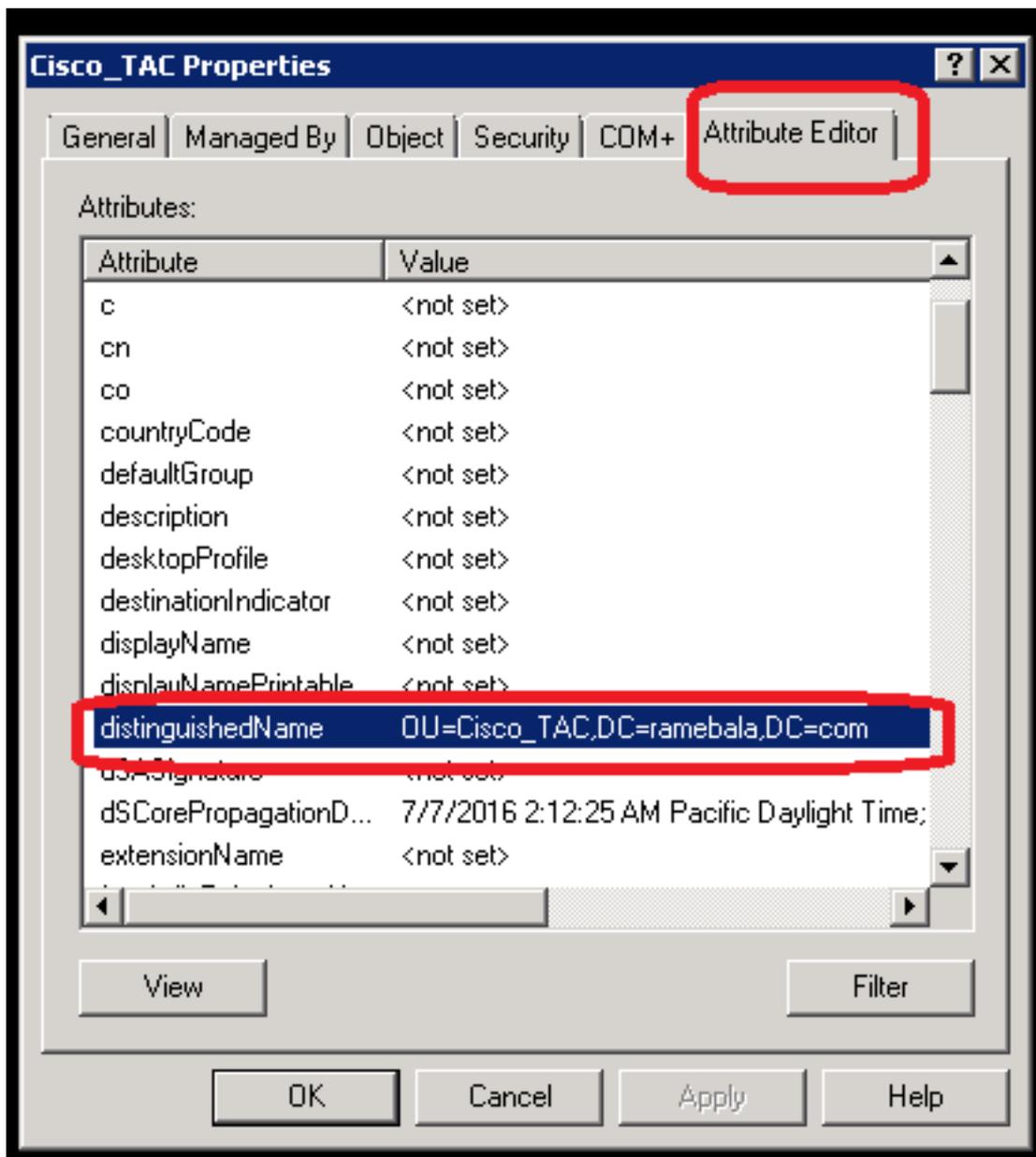
[LDAP Password]：この値は、ステップ4で作成したブリッジユーザのパスワードです。

[LDAP User search base]：この値を検索するには、ADサーバで次の手順を実行します。

A) OUを右クリックし、[Properties]を選択します。



B) [プロパティ]ダイアログで、[属性エディタ]タブを選択し、「distinguishedName」値を見つけます。

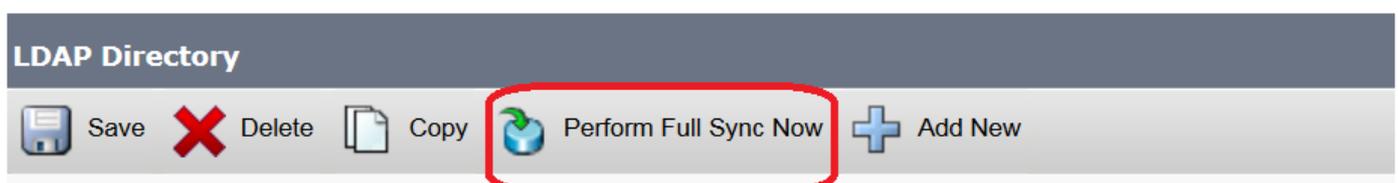


ステップ15：ここでは、LDAPサーバのIPアドレスとポートを保持します。



ステップ16:[Save]をクリックします。

ステップ17:[Perform Full Sync Now]をクリックします。



確認

CUCMでユーザを確認するには、[User Management] > [End User]に移動します。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。